

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	地域に役立つ公園づくり事業							掲載ページ
								137
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局
		392,335	千円	240,000	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課
								建設局
								公園建設課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	地域住民によるワークショップを行うことにより、地域のニーズに合った市民目線での計画を策定し、公園を身近に感じられ、公園を積極的に活用してもらう状態を目指す。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	当事業はH20年度より実施しておりH24年度については4校区のワークショップを開催し、計画策定を行います。その翌年より約2か年をかけて整備を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	市民が身近に公園を感じられる状態		8校区	4校区	3校区	75.0 %	大変順調
	「市民が身近に公園を感じられる状態」は数値で表すことは困難だと考えています。代替の指標として「子育てに配慮した公園数」、「当事業の実施公園数」などの実績を算出します。						
	(最終目標と最終年度)						順調
						やや遅れ	
						遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	事業は昨年度4校区中1校区が地元の中で参加者の調整が難航し、ワークショップを翌年に延期することとなりました。本市の身近な公園について全体的に老朽化が進んでおり、当事業を行うことは、事業目的を達成する上で有効であると考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	常に工事のコスト縮減を踏まえた上で計画づくりを行っています。民間活力については現在のところ他の実施主体は考えられず、実施主体は市が適当と考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
毎年度、4校区程度の計画策定を行い、地域をはじめとして、各区役所、整備事務所など関連部局と連携しながら、積極的な事業展開を行い、より地域のニーズにあった、使いやすい公園づくりを目指します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	紫川都市基盤河川改修事業(紫川マイタウン・マイリバー整備事業)						掲載ページ		
							137		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建設局
		1,417,461	千円	588,000	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	水環境課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	小倉都心地域で、治水対策とあわせ、人々が川に集い・憩い・賑わう、「川を軸としたまちづくり」をテーマとした河川整備を行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	護岸工事や河道掘削等の河川整備事業を進めることで、潤いのある水辺空間の形成を行います。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】		
	事業進捗率							
	護岸工事や河道掘削等の河川整備事業を順調に達成していくことで、潤いのある水辺空間の形成とともに、治水整備が施され、安全・安心なまちづくりを進めていくことができます。 (最終目標と最終年度)平成25年度 100%	93 %	95 %	96 %	大変順調		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	(最終目標と最終年度)			101.1 %	順調		大変順調	
						やや遅れ		
						遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	護岸工事や河道掘削等の河川の整備により、順調に事業進捗率が推移しています。地域企業、まちづくり団体、行政が一体となった祭りやイベントなど、身近な水辺を中心とした賑わいが活発化しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	整備箇所ごとに最も経済的な方法を検討し整備を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後、さらに安全な水辺空間となるよう、治水対策の向上を図るために、護岸工事や河道掘削等の河川整備を行います。潤いのある水辺空間の形成が図られているため、現状のまま進めることが適当と考えます。また、近年、ゲリラ豪雨が頻発する等、河川改修の必要性も高くなっていることから、治水整備もあわせて行うべきだと考えます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	新・海辺のマスタープラン推進事業						掲載ページ		
							138		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	港湾空港局
		4,763	千円	3,300	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	総務経営課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	多くの人々が、海辺を舞台に憩い、学び、遊ぶことのできる魅力ある海辺を目指します。				活動実績	平成23年5月に「新・海辺のマスタープラン」を策定したため、今年度は、マスタープラン及び現在の海辺や港に関する情報発信を中心に取り組みを行いました。活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	平成23年5月に「新・海辺のマスタープラン」を策定したため、計画及びその概要パンフレットの制作、周知を図るための講演会を行います。新たなマスタープランの広報及び、現在の本市の魅力ある海辺のPRを実施するため、市民向けに市内の海辺の情報を詳細に発信するウェブサイトの制作を行います。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	市民が、北九州市の海辺や港について満足している割合		-	単年度の目標設定はありません	35.6 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	市民意識調査で、市民が、北九州市の海辺や港について満足している割合をモニタリングします。（調査は、毎年度行います） 最終目標は、市民の4分の3以上が満足していることを目指します。 （最終目標と目標年度）75%（平成32年度）							
						順調	順調	
（最終目標と最終年度）					やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度に策定したばかりであるため、前年度等との比較はできませんが、モニタリング結果によると、海辺や港について満足と答えた割合（35.6%）が不満と答えた割合（14.8%）を大きく上回っており、計画初年度の実績としては、順調であると判断しました。また、現在の本市の海辺の魅力等をきちんと広報するウェブサイトを作成するなど、短期的に取り組む施策としては、有効性の高い活動を行っていると考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	講演については、趣旨の近い講演・研修会などともに行うなど、コストの削減に努めました。今後も同様に、他の事業との連携を視野に入れつつ、効率の良い事業の推進に努めます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
海辺の利用に関するルールづくりや、海辺の資源を活用したにぎわいづくりなどに取り組みます。